

# 千年の森便り No.165

2017.04. 21

ちば千年の森をつくる会

<http://toyofusajima.html.xdomain.jp/>

事務局長 伊藤道男

[sennennomori@hotmail.co.jp](mailto:sennennomori@hotmail.co.jp)

## 活動の記録

### 4月16日(日) 晴

参加は 秋元、新井通子、新井夫妻、石松茂子、伊藤、岩崎、鶴沢、及川、大原、苅米、栗山、久我夫妻、坂本、成沢、根本、福島、松田、真鍋、村野、山口の22名。

春爛漫の陽気の中、昼までじっくり時間をかけて落ち着いた雰囲気です。年次総会、昼食には村野・根本・鶴沢シェフ丹精の山の幸料理をたっぷりのご馳走になり、午後は林内を散策し植物観察や野鳥観察を楽しみ、整備班は危険木の伐採に精を出しました。(真鍋)



### ○平成29年度総会

平成29年度の総会は、初夏を思わせるような陽気の中、参加22名、委任状3名で開催されました。28年実績報告・決算、29年度事業予定・予算と所定の議案を審議しましたが、いずれも事務局の説明に関連して各担当者から追加コメントや質疑応答があり活発な議論が交わされました。更に船による島外からの観察実施などの話題で盛り上がりました。議論の内容を反映して議案を一部修正することで承認されました。

また、久我代表の辞任に伴い、坂本さんが新代表に選任されました。久我さん、3年(3期)に渡っての代表お疲れ様でした。坂本さん、よろしくお願いします。(事務局)

### 代表就任のご挨拶

代表 坂本文雄

久我代表お疲れ様でした。3年間、会の代表を務められた久我さんは高齢などの理由で退任されました。在任中は「安全に楽しく」をモットーに色々な場面でご夫妻に気配りを頂きました。

その中で、ふるりの熊本県益城町が大震災に襲われ、ご自身と身内をはじめ友人知人の多くが被災され、その心労とご苦勞は並大抵ではなかったと思いますが、代表としての務めを果たされました。皆さんの感謝の気持ちは永く記憶に残る事でしょう。尚、代表の座は退かれましたが、引き続き幹事として活動して下さるそうですから、今後とも宜しくお願い致します。

さて、後任は不肖ながら私、坂本が引き継ぎました。たまたま私が地元の旧三島村の生まれで、清和県民の森や豊英の一带は私を育ててくれた馴染み場所です。この地の自然の魅力を広く紹介できれば、多少なりとも故郷への恩返しになるかと思い、身の程も知らず大任をひきうけました。

幸い、先輩諸氏のご尽力で会の基礎は固まり、各方面から高い評価と信頼を得ていますので、この路線を踏み外すことなく、進むだけと心得ています。いずれにしても会員の皆様が安全で楽しくなくてはなりません。出来る事なら皆さん自身で楽しみを見つけ、仲間との共有を図ってもらえればと思います。

### ○野鳥記録

キジバト囀り アオバト1 トビ3+声 コゲラ声 カケス1 ハシボソガラス声 ハシブトガラス声  
ヤマガラ2+声+囀り シジュウカラ声+囀り エナガ4+声 メジロ声+囀り 以上11種

観察できた種類は何故か少なく、この時期には必ず聞こえるはずのウグイスの囀りも記録できませんでした。その中で特記すべきはアオバトの初記録です。アオバトはキジバトやドバトとほぼ同じ大きさですが、全身が緑色の美しいハトです。県内では山間部で夏に声を聞くことがありますが、姿を見る機会は多くありません。また珍しい習性として、ミネラル補給のため集団で海水を飲むのが知られています。神奈川県の大磯海岸の岩場が有名で、シーズンになると多くの観察者が訪れます。(坂本)

## ○植物観察

ミツバツツジ、頭上にはヤマザクラ類の花々、広場近くではクロモジが花盛りでした。3月の活動日に白い花を咲かせていたコショウノキに実が着いていました。雌雄異株なので、この個体は雌株のようです。近くに雄株もある筈です。



ミツバツツジ



クロモジ



コショウノキ



エビネの蕾



フモトスミレ



フデリンドウ(白花)

林床にはエビネ、キヨスミギボウシ、ヤブレガサなどが芽を出していました。時間をかけてヒナスミレの花を探しましたが、すでに花期は終わっていたようで、見つけられたのは辛うじて終わりかけの花ひとつだけでした。このほかタチツボスミレ、ニオイタチツボスミレ、アカネスミレ、フモトスミレも咲いていました。

フデリンドウも咲いていました。1個体だけでしたが、白花と思われるものがありました。

禁断の岬崖下に降りましたが、ヒメフタバランは花期を終え蒴果株2株残すのみでした。崖で崩落しかかったヒカゲツツジには花がなく、葉も貧弱なので、今年も咲かないと思われます。(福島・真鍋)

・**クロモジ試食記** クロモジの新芽が柔らかくおいしそうに見えたので持ち帰り、小枝を付けたまま枝先の新芽に衣を薄くつけて、油で揚げると乙な味と、香りが楽しめました。葉の部分食べて残った小枝はそのまま爪楊枝になるので風流で無駄がありません。今後はクロモジが千年の森名物になるかもしれません。(坂本)

### ・ミヤマウグイスカグラ-ヤマウグイスカグラ-ウグイスカグラ

葉・枝・花・花柄・果実に毛と腺毛(毛の先が球状に膨らむ)があるミヤマウグイスカグラ(写真)が全伐区に3株、休憩所脇に1株あります。ヤマウグイスカグラには毛があり、無毛のウグイスカグラのほかに、葉柄にごくまばらな毛と腺毛のある株や葉柄にごくまばらな腺毛のみある株があるので、変種ではないかと思い、4月20日県中央博の天野先生を訪問し同定をお願いしたところ、「中間型もあるが広義のヤマウグイスカグラ」とのことでした。(新井通子)



ミヤマウグイスカグラ

・**臨時活動** 4月19日一人で豊英島に入林し、林内のウグイスカグラ、ミヤマウグイスカグラ、ヤマウグイスカグラの調査とツチアケビの食害保護作業を行いました。ツチアケビは秋に金網撤去していますが、5月には芽を出し食害に遭う恐れがあるため、千年広場脇の自生地を金網で覆いました。(新井通子)



## ○危険木の伐採

コナラ林もようやく新しい芽が吹き始めました。枯死した危険木との判断がしやすくなり、本日はホコラ山の裾あたりの12本を伐採処理しました。立枯れの木の伐採は、倒れた際に枝が四方に割れて飛び散り予測できない状態になりますので作業者はもちろん、見学する人も近寄らず細心の注意をお願いします。

島内の危険木はまだ沢山あります。逐次処理をしていきますが、島内を散策する際にはヘルメットの着用に心掛けてください。

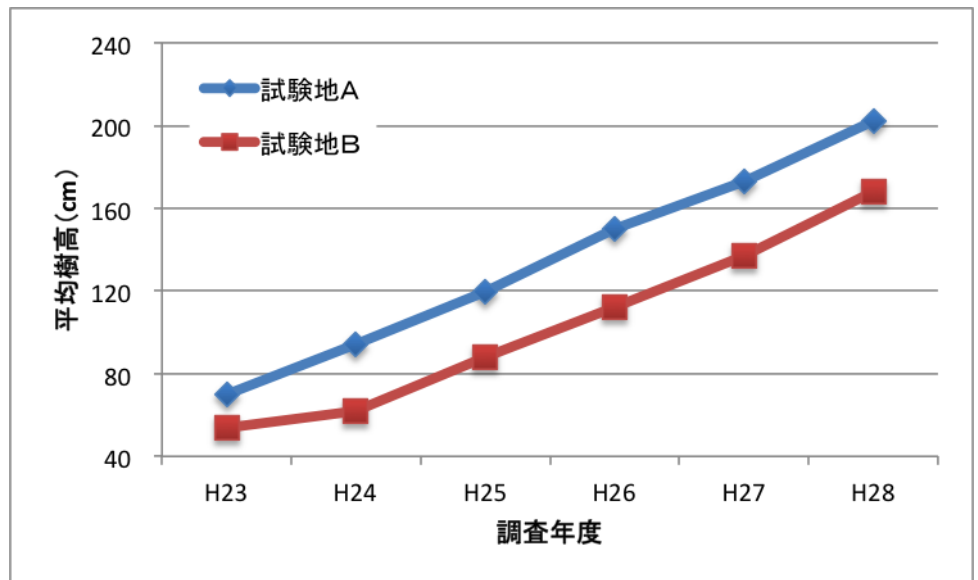
この日の作業は苅米さん、新井さん、山口さんおよび根本が担当しました。（根本）



3月19日の実施のヒメコマツ成長調査結果と植栽試験開始後7年間の中間結果を、県中央博物館の尾崎様にとりまとめ寄稿いただきましたので掲載します。

### ヒメコマツの植栽試験について

ご存知の方も多いと思いますが、房総丘陵のヒメコマツは氷河期の生き残りと考えられる貴重な植物で、千葉県では絶滅が危惧されています。豊英島では、ちば千年の森をつくる会のみなさまのご協力を得て、島内2箇所にヒメコマツの苗木を植栽させていただいています。これは県自然保護課が平成22年3月に策定し、27年3月に改訂した『千葉県ヒメコマツ回復計画』に沿った取り組みの一環で「植栽試験」と呼んでいるものです。その目的は、将来的にヒメコマツの個体群回復のために人工的な植栽が必要になった場合に備えて、植栽個体の生存率や成長過程、立地、管理手法などに関するデータを集めることです。



最初は平成22年4月に試験地A（平坦部）に31本、試験地B（南向き斜面）にも7本の苗木を植栽しました。しかし、シカによる食害を避けるために苗木に取り付けた「ツリーシェルター」という器具が逆に悪影響して試験地Aでは約3分の2、試験地Bではすべての苗木が枯れてしまいました。ツリーシェルターの悪影響は想定外でしたが、これも将来に役立つ貴重な失敗経験となりました。その後、平成23年に補植を行い、試験地Aでは計28本試験地Bでは7本の苗木を継続的に測定し記録しています。

今年も3月19日に調査を行わせていただきました。試験地Aでは、生き残りは23個体となりましたが、最大の個体は樹高約3.9mに達しました。試験地Bにおいては7個体すべてが健全で、最大の個体は樹高約1.9mでした。土壌の薄い試験地Bの方が植栽直後の成長が遅い傾向は見られましたが、25年度以降は両試験地とも毎年平均20cm以上の樹高成長が観察されています（図）。

この試験は今後も継続し、植栽個体の成長過程を記録します。将来的には貴重なデータが蓄積されることでしょう。今後ともよろしくお願いいたします。

（千葉県立中央博物館 生態学・環境研究科 尾崎煙雄）

## お知らせ

### 〇5月活動日のお知らせ

5月21日(日) 県民の森自然観察会、植物・野鳥・昆虫調査、ギャップ林植生調査を計画しています。自然観察会は公開行事で、一般参加を歓迎します。添付「初夏の豊英島と清和県民の森を楽しむハイキング」の要領で実施します。集合は清和県民の森駐車場、9時30分集合です。

### 〇6月以降の活動日

下記「月別活動計画」の通りです。年度中保存して活動に参加下さい。

#### 平成 29 年度月別活動計画

月 日	主な活動	摘 要
4月16日(日)	年次総会、自由散策、危険木処理 植物・野鳥・昆虫調査	
5月21日(日)	県民の森自然観察会(内部講師) 植物・野鳥・昆虫調査、ギャップ林植生調査	里山シンポジウム 今年はなし
6月25日(日)	シカ個体数調査1 環境整備(水辺)、危険木処理、 植物・野鳥・昆虫調査 ヒメコマツ周辺下刈	里山センター総会 6月18日(日)
7月26日(水)	キノコ観察会(吹春講師)、 植物・野鳥・昆虫調査	公開行事・平日
8月20日(日)	光環境調査(夏) 植物・野鳥・昆虫調査	
9月18日(祝)	シカ個体数調査2、環境整備(観察路、ベンチ) 植物・野鳥・昆虫調査 ギャップ林植生調査	
10月4日(水)	キノコ観察会(吹春講師) 植物・野鳥・昆虫調査	公開行事・平日
11月19日(日)	ホテイ岬地区整備 ホダ木伐採確保 植物・野鳥調査	
12月3日(日)	シカ個体数調査3 巨木林成長量調査、ホダ木玉切り 植物・野鳥調査 物置整備	紅葉時期
1月21日(日)	ホダ場保護柵整備 植物・野鳥調査	
2月18日(日)	光環境調査(冬)、栽培キノコ植菌 植物・野鳥調査 物置整備	
3月18日(日)	シカ個体数調査4、ヒメコマツ樹高・径計測 植物・野鳥調査	

(備考) 定例活動日の他に必要に応じて、臨時活動日を計画する。

6月23日(金) ボートによる水面からの自然観察